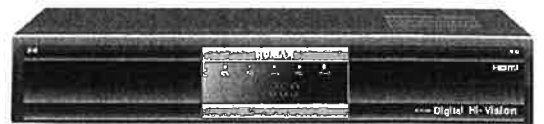


HUMAX

CATVデジタル放送受信 セットトップボックス JC-3100



取扱説明書

このたびはケーブルテレビ局にご加入いただきありがとうございます。製品を安全に正しくお使いいただくために、本書をよくお読みになりご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管し、必要なときにお読みください。

目次

1 安全上のご注意 4 ~ 7

使用上の注意	6
--------------	---

2 ご使用の前に 8 ~ 15

まず
確認

本機の特長と楽しみかた	8
リモコンボタンの名称と機能	10
本体各部の名称	12
付属品を確認しましょう	14
放送受信までの流れ	15

3 接続と初期設定 16 ~ 28

本機を
つなぐ

ケーブルテレビ宅内線の接続	16
テレビの接続	16
電話回線の接続	18
電話回線の接続方法	18
ビデオや DVD レコーダー、オーディオ機器の接続	20
IR システムコントローラーの接続	20
初期設定をする	21
リモコンの準備	21
IC カードの挿入	21
電源を入れる	22
接続テレビ・オーディオ設定	22
地域設定	25
電話回線の設定	26
IR システムコントローラーの設定	27
TV コードの設定	28
本機のリモコンで TV を操作する	28
時計表示の設定	28

4 番組を見る 29 ~ 41

すぐ
見たい

番組を見てみましょう	29
チャンネルの選びかた	30
チャンネル+ / - ボタンの選局設定	32
番組ガイド (番組表) から選ぶ	32
番組ガイドの使いかた	32
数字 (短縮) ボタンで選ぶ	33
短縮ボタンを登録する	33
短縮ボタンの使いかた	34
お好みリストから選ぶ	34
お好みリストを作る	34
お好みリストの使いかた	35
CH リストから選ぶ	35
CH リストの使いかた	35

4 番組を見る (つづき)

見たい番組の情報を見る	36
見ている番組の番組情報を見る	36
字幕や文字スーパーを選ぶ	36
マルチ映像や二重音声を選ぶ	37
OSD表示のオン・オフ機能を使う	37
サイドカット機能を使う	38
サイドカットして見る	38
ペイ・パー・ビュー (PPV) および視聴制限番組を見る	39
ペイ・パー・ビュー番組の購入方法	39
年齢制限番組の視聴	40
データ放送を見る	41

5 便利に使う 42 ~ 56





番組ガイド (番組表) を便利に使う	42
番組ガイドで放送中の番組を選ぶ	43
番組ガイドから番組を検索する	43
番組ガイドの日付や時間を変えるには	46
視聴予約・録画予約をする	46
番組を予約する	46
時間指定予約 (タイマー予約)	47
予約の確認と変更・取り消し	49
予約番組の視聴と録画	49
IRシステムコントローラーで連動録画するには	50
IRシステムコントローラーを使わずに録画するには	50
視聴制限の設定	51
暗証番号の変更	51
視聴可能年齢の設定	51
一番組制限額	52
制限解除有効期間	52
メール (放送メール/本機からの情報)	53
購入記録	53
購入記録送信結果	54
双方向通信一覧	54
システム情報	55
地上デジタル初期スキャン	55
地上デジタル再スキャン	56
ユーザー設定を初期化する	56

6 その他 57 ~ 71



リセットボタンについて	57
お手入れについて	57
地上デジタル放送地域別チャンネル一覧	58
アイコン一覧	60
メニュー画面一覧	62
故障かな?と思ったら	64
エラーメッセージ表	66
How to Use JC-3100	67
主な仕様	68
索引	70

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすること生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

-  **警告：** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
-  **注意：** 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



○ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

 **警告**



交流 100V 以外では使用しないでください。

本機は日本国内用です。電源プラグを交流 100 ボルト (AC100V)の家庭用電源コンセントにつないでください。他の電源電圧を使うと火災や感電の危険が生じます。



電源コードやプラグに損傷を与えないでください。

電源コードの損傷は火災や感電の原因となります。このような事故を防ぐためには次のような注意事項を守ってください。

- 電源コードやプラグを勝手に分解しないでください。
- 電源コードを無理に折り曲げないでください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。
- 電源コード表面のビニールが溶けるのを防ぐため、電熱機器に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときはコードを無理に引っ張らないで、プラグを持って抜いてください。



**本機の電源は必ず付属の電源コードを使用し、他の電源コードは使用しないでください。
また、本機に付属の電源コードは他の製品には使用しないでください。**



内部に水が入らないようにしてください。

- 火災や感電の原因となります。
- 本機の上やそばに花瓶などの水が入っている容器を置かないでください。
 - 浴室などの水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。
 - 窓際に置く場合は雨や雪、結露にご注意ください。



内部に金属類や燃えやすい物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。



雷が鳴っている時は機器やケーブルには触れないでください。

感電の原因となります。



本体を分解しないでください。

感電の原因および保証対象外となります。故障や内部を点検する時は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを
触らないでください。

接触禁止

感電の原因となります。



電源プラグのほこりは定期的に
掃除してください。

注意

湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



電源プラグは根元まで確実に
差し込んでください。

注意

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の
原因となります。



故障したまま使い続けると火災や
感電事故の原因となります。

注意

次のような症状が現れた場合、電源を切って電源
プラグをコンセントから抜いた後、ご加入のケーブル
テレビ局にご連絡ください。

1. おかしい音やにおいがする。煙が出る。
2. 内部に水や異物が入った。
3. 本機の一部が壊れた。
4. 正常に動かない。
5. 電源コードやプラグが壊れた。
6. 電源コードの一部が特に熱い。



長期間ご使用にならない場合は
電源プラグを抜いてください。

プラグを
抜く

リモコンや本体の電源ボタンで電源を切っても、電気
の供給は完全には止まりません。火災の原因となるこ
とがあります。

⚠ 注意



水平で安定している場所に
置いてください。

禁止

落下によるケガの原因となります。



風通しの良い場所に
置いてください。

禁止

- 本機の天面にある放熱用の穴をふさがないでください。
- カーペットやクッションなど、安定の悪いところには置かないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光にあたる場所、または40℃以上になる場所には置かないでください。



他の機器と重ねて使用しないで
ください。

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。



湿気やほこりが多い場所、
油煙や水蒸気のある所は
避けてください。

禁止

火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れの際は、安全のため
電源プラグをコンセントから
抜いてください。

プラグを
抜く

感電の原因となる場合があります。



他の電気機器とつないで使用する
場合は、接続機器の安全事項も
守ってください。

禁止

機器に損傷を与える場合があります。



移動されるときは、必ず接続線を
外してから行なってください。

確認

コードや接続している機器が傷つき、火災・感電の
原因となることがあります。



電話回線を接続する前に、
内線交換機や多機能電話などの
電話回線を使っているかどうかを
確認してください。

確認

次のような場合、内線交換機を使用している可能性が
あります。

- 電話機が2台以上あって内線の交換が可能な場合
- 外線発信の時、最初に0や9などを押す場合
- 電話機に外線ボタンがついている場合

使用している回線が本機に適しているかご確認
ください。

使用上の注意

電話回線の接続について

デジタル放送は、データ放送などの一部サービスにおいて電話回線を使用する場合があります。ブッシュ式またはダイヤル式（10PPS／20PPS）の電話機に接続する電話線を分配して接続してください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できません。

ご加入のケーブルテレビ局専用のICカード以外は挿入しないでください

本機のICカード挿入口に正規のICカード以外のものを挿入すると、故障したり破損したりすることがあります。

通風孔をふさがないようにしてください

本機は放熱のため、一部で温度が高くなる場合があります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

本機と他の機器を重ねて設置しないでください

他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

静止画像（動かない映像）を長時間映したままにしないでください

本機に接続されたテレビやプロジェクターに、静止画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。

本機の受信周波数帯域と同じ周波数を用いた機器を近づけないでください

本機の受信周波数帯域（7MHz～770MHz）に相当する周波数を用いた機器を、本機やケーブルテレビ宅内線を接続している機器に近づけると、不具合が生じる場合があります。それらの機器は離してご使用ください。

■リモコンについて

電池を入れるときには、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意してください。機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

 **ご注意**

- HUMAXおよび本機を利用してサービスを提供する事業者は、本機の不具合により録画できなかった場合等の補償については一切応じられませんのであらかじめご了承ください。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用することはできません。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格および日本ケーブルラボ規格に基づいた製品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、製品仕様を変更する場合があります。
- 本機には著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要であり、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他一部の観賞用での使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は日本国内専用です。国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CASカードおよびC-CASカードはBS・CS・地上デジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 本機から電話回線を通じて通信を行なうと、通信料金無料のフリーダイヤルでない限り、電話料金はお客様の負担になります。
- メールや購入記録などのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合の復元は不可能です。その内容等の補償については一切応じられませんのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

本機の特長と楽しみかた

高画質なデジタル放送を楽しむ 29ページ

本機は、地上・BS・CSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、実際に受信できる放送内容は異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

地上デジタル放送

地上波の周波数を使って行なわれるデジタル放送です。高品質（ゴーストや雑音のない）・高画質な映像や多チャンネル番組のほか、地域密着型のデータ放送や、高度な双方向サービスなども予定されています。

BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行なわれるデジタル放送で、高画質・ワイド画面のハイビジョン放送やデータ放送などが特長です。BS日テレ（日本テレビ系列）、BS朝日（テレビ朝日系列）、BS-i（TBS系列）、BSジャパン（テレビ東京系列）、BSフジ（フジテレビ系列）などは無料放送を行なっています。WOWOWなどの有料放送は、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。

CSデジタル放送

通信衛星（Communications Satellite）を使って行なわれるデジタル放送で、ニュースや映画、ドラマ、スポーツ、音楽などの専門チャンネルが数多くあります。ほとんどの放送は有料となりますので、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。詳しくはご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

ご参考

• ペイ・パー・ビュー（番組単位で購入できる有料番組）

本機の画面上で購入操作することで、番組の視聴や録画ができます。この場合、ICカードの挿入と正しい接続・設定が必要です。

• テータ放送

本機の画面の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。例えば、BS101を視聴中にリモコンのデータ（d）ボタンを押すと、NHKデータ放送で送られている天気予報がご覧になれます。

• テータ放送をお楽しみになる場合

プログレッシブテレビやハイビジョンテレビに接続されることをお勧めします。一般のテレビに接続されると文字などが見えにくい場合があります。

HDMI端子やD端子付きテレビにつなげば より高画質に ⑤ 17ページ

- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) 信号を出力するHDMI端子や、コンポーネントビデオ信号を出力するD端子 (D1/D2/D3/D4 切換可能) を装備しています。これらの端子を備えたテレビに接続すれば、より高画質な映像をお楽しみいただけます。

※ HDMI および HDMI ロゴは HDMI LICENSING LLC の商標または登録商標です。

番組ガイド (番組表) で番組選び ⑤ 42ページ

本機の画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。(最大8日分)

- 番組表から選局や視聴予約・録画予約ができます。
- 地上デジタル放送の番組情報は地上デジタル放送と、衛星デジタル放送の番組情報は衛星デジタル放送と一緒に送られています。

見たい番組を簡単検索 ⑤ 43ページ

- 今の時間帯で放送されている他の番組 (裏番組) が一覧できます。(番組ガイド)
- 「ジャンル別」に条件を指定して番組を探し、視聴や予約ができます。(ジャンル検索)
- キーワードを入力して番組を探し、視聴や予約ができます。(キーワード検索)

連動操作で簡単録画予約 ⑤ 50ページ

- 付属の IR システムコントローラーを使えば、ビデオデッキや DVD レコーダーと連動させた録画予約が簡単にできます。

リモコンボタンの 名称と機能

操作や設定は、全てリモコンで行ないます。

接続したテレビの操作用ボタン

テレビ電源ボタン ①

消音ボタン ②

チャンネル+/-ボタン ③

入力切替ボタン ④

数字ボタン ⑤

▲▼◀▶ボタン ⑥

番組表ボタン ⑦

番組情報ボタン ⑧

音量+/-ボタン ⑨

BSボタン ⑩

地上ボタン ⑪

d (データ) ボタン ⑫

映像/音声ボタン ⑬

⑭ 電源ボタン

⑮ 選局切替ボタン

⑯ CHリストボタン

⑰ カラーボタン
(青・赤・緑・黄)

⑱ 決定ボタン

⑲ 戻るボタン

⑳ ナビボタン

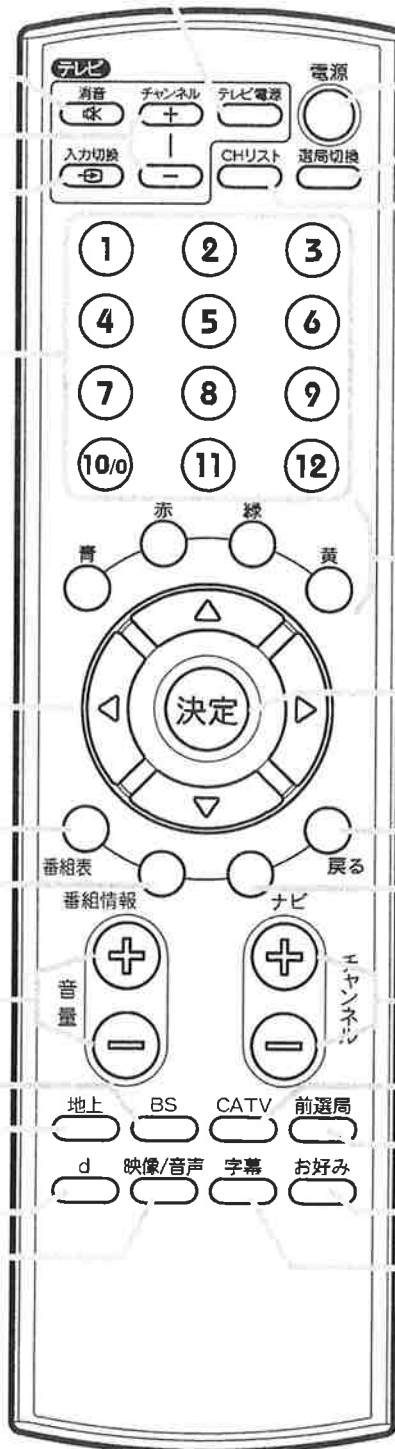
㉑ チャンネル+/-ボタン

㉒ CATVボタン

㉓ 前選局ボタン

㉔ お好みボタン

㉕ 字幕ボタン



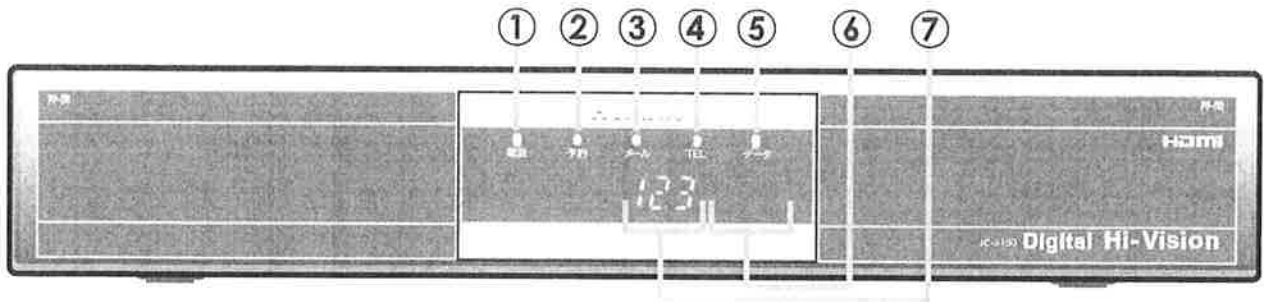
- ① **テレビ電源ボタン** (P. 28 ページ)
テレビの電源をオン/オフします。
- ② **消音ボタン** (P. 28 ページ)
テレビの音声を消します。
- ③ **チャンネル+/-ボタン** (P. 28 ページ)
テレビのチャンネルを切り換えます。
- ④ **入力切替ボタン** (P. 28 ページ)
テレビの入力を切り換えます。
- ⑤ **数字ボタン** (P. 30 ページ)
チャンネル番号や数値を直接入力します。
- ⑥ **▲▼◀▶ボタン** (P. 22 ページ)
ハイライトを移動したり、設定値を選択します。
- ⑦ **番組表ボタン** (P. 30 ページ)
番組ガイド(番組表)を表示します。
- ⑧ **番組情報ボタン** (P. 29 ページ)
番組情報を表示します。
- ⑨ **テレビ音量+/-ボタン**
テレビの音量を調整します。
- ⑩ **BSボタン** (P. 29 ページ)
BSデジタル番組を選局します。
- ⑪ **地上ボタン** (P. 29 ページ)
地上デジタル番組を選局します。
- ⑫ **d(データ)ボタン** (P. 41 ページ)
データ放送の画面を表示します。
- ⑬ **映像/音声ボタン** (P. 29 ページ)
マルチ映像や二重音声を選択します。
- ⑭ **電源ボタン** (P. 22 ページ)
本機の電源をオン/オフします。
- ⑮ **選局切替ボタン** (P. 34 ページ)
地上/BS/CATVの短縮ボタンの選局リストを表示します。
- ⑯ **CHリストボタン** (P. 30 ページ)
チャンネルリストを表示します。
- ⑰ **カラーボタン(青・赤・緑・黄)** (P. 42 ページ)
画面上で指示が出たときに使用します。
- ⑱ **決定ボタン** (P. 22 ページ)
設定事項を保存して上位メニューへ移動したり、選択事項を決定します。
- ⑲ **戻るボタン** (P. 24 ページ)
設定事項をキャンセルしたり、前に戻ったり、上位メニューに戻るときに使用します。
- ⑳ **ナビボタン** (P. 29 ページ)
番組ナビ画面を表示します。
- ㉑ **チャンネル+/-ボタン** (P. 29 ページ)
チャンネルを切り換えます。
- ㉒ **CATVボタン** (P. 29 ページ)
CATV番組を選局します。
- ㉓ **前選局ボタン** (P. 29 ページ)
直前に視聴していたチャンネルに戻ります。
- ㉔ **お好みボタン** (P. 31 ページ)
お好み選局の画面を表示します。
- ㉕ **字幕ボタン** (P. 29 ページ)
字幕をオン/オフします。


ご注意

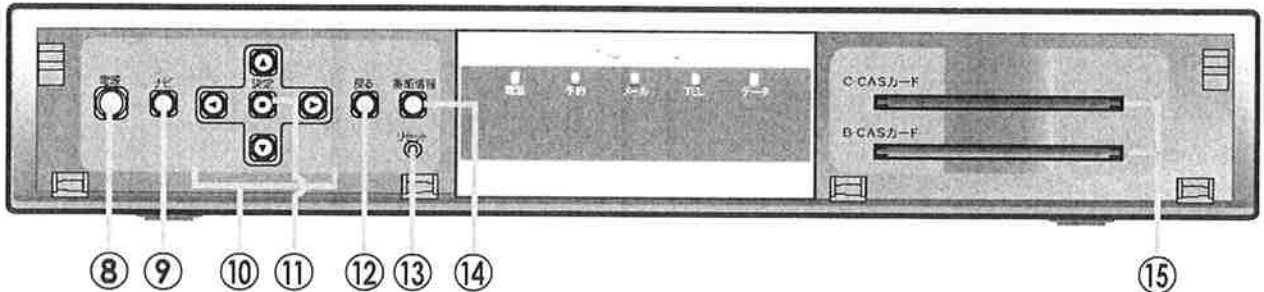
- リモコンに液状のものをかけないでください。かけてしまった場合はすぐに乾いた布等で拭き取ってください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。

本体各部の名称

● 本体の前面

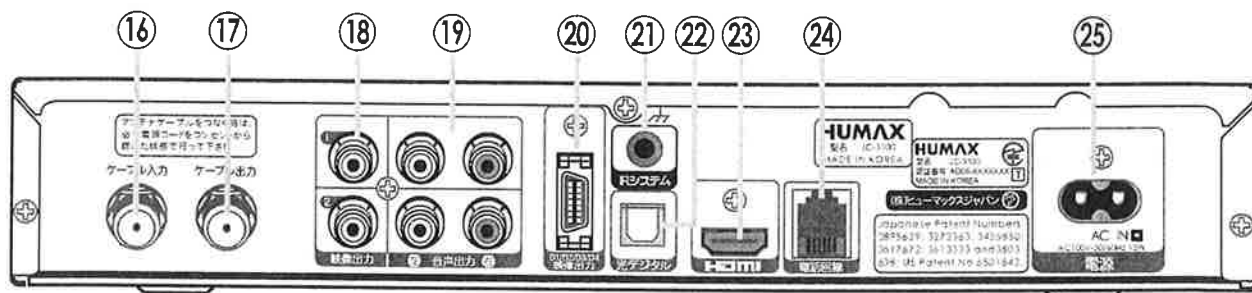


フロントパネルを開いた状態



- ① 電源ランプ
(オフ：赤、オン：緑)
電源がオフでも赤色点灯しています。
(スタンバイモード)
ソフトウェア読み込み時に橙色点灯します。
- ② 予約ランプ
予約実行時に点灯します。
- ③ メールランプ
未読のメールがあるときに点灯します。
- ④ TEL ランプ
電話回線使用時に点灯します。
- ⑤ テータランプ
データ放送を表示中に点灯します。
- ⑥ リモコン受光部
- ⑦ チャンネル・時刻表示部
電源オン時：チャンネル番号を表示します。
電源オフ時：時刻を表示します。
- ⑧ 電源ボタン
本機の電源を入/切します。
- ⑨ ナビボタン
番組ナビ画面を表示します。
- ⑩ ▲▼◀▶ ボタン
ハイライトを移動したり、設定値を選択します。
- ⑪ 決定ボタン
設定事項を保存して上位メニューへ移動したり、選択事項を決定します。
- ⑫ 戻るボタン
設定事項をキャンセルしたり、前に戻ったり、上位メニューに戻るときに使用します。
- ⑬ リセットボタン
受信異常により本機の操作ができなくなった場合に使用します。
- ⑭ 番組情報ボタン
番組情報を表示します。
- ⑮ IC カード挿入口
本機専用の B-CAS カードおよび C-CAS カードを挿入します。

● 本体の背面



- ①⑥ ケーブル入力端子 (P 16 ページ)
ケーブルテレビ宅内線を接続します。
- ①⑦ ケーブル出力端子 (P 16 ページ)
ホームターミナルなど他の機器を接続する場合に使用します。
- ①⑧ 映像出力端子 (P 16 ページ)
テレビの映像入力端子に接続します。
- ①⑨ 音声出力端子 (P 16 ページ)
テレビの音声入力端子に接続します。
- ②⑩ D1/D2/D3/D4 映像出力端子 (P 17 ページ)
D映像入力端子のあるテレビに接続する場合に使用します。
- ②⑪ IR (赤外線) システム端子 (P 20 ページ)
IRシステムコントローラーを接続します。
- ②⑫ 光デジタル出力端子 (角型) (P 20 ページ)
光デジタル音声入力端子のあるオーディオ機器に接続する場合に使用します。
- ②⑬ HDMI 端子 (P 17 ページ)
HDMI入力端子のあるテレビに接続する場合に使用します。
- ②⑭ 電話回線接続端子 (P 18 ページ)
電話回線を接続します。
- ②⑮ 電源入力 (P 22 ページ)
付属の電源コードを接続します。

⚠️ ご注意

- 予約録画中は操作できなくなるボタンがありますが、受信異常ではありませんのでリセットボタンを押ししないでください。予約録画中に録画を中止したい場合は、本体の電源ボタンを押してください。
- 電源オフ時 (スタンバイモード: 電源表示ランプが赤色の状態) でも、デジタル放送からの情報受信中や視聴記録の送信を自動的に行ないます。

🕒 ご参考

- 音声出力、映像出力の各 1、2 端子からはそれぞれ同じ信号を出力します。
- 出力 1、出力 2 の映像端子からは、ワイド画像や画面の上下に映像のないアスペクト比の映像を自動判別するための識別信号も出力しますので、信号検出機能付きのテレビを接続すると、テレビ側が識別信号を検出して自動的に「フル」画面や「ワイド」画面になります。接続するテレビによっては、識別信号により 4 : 3 画面になることがあります。

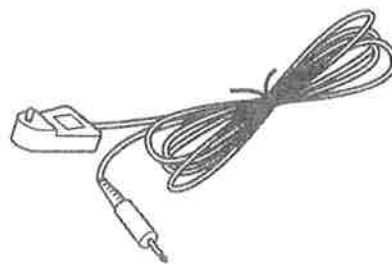
付属品を確認しましょう

設置・接続の前にまず付属品を確かめてください。
() は個数です。

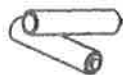
リモコン (1)



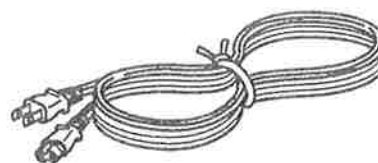
IRシステムコントローラー (1)



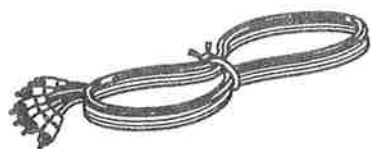
単4形乾電池 (リモコン用) (2)



電源コード (1.7m) (1)



映像・音声コード (1.5m) (1)

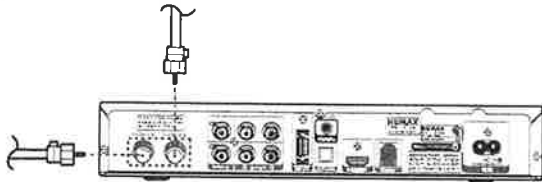


- イラストはイメージであり、実物とは形状が異なる場合があります。
- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

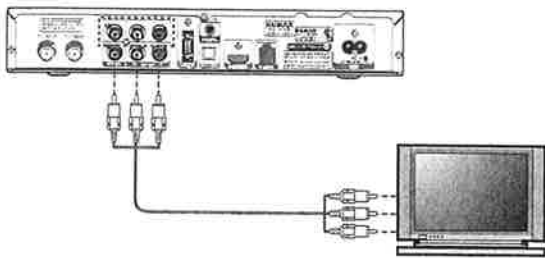
放送受信までの流れ

ご加入後初めてお使いになるときは、次の手順で本機の準備をしてください。

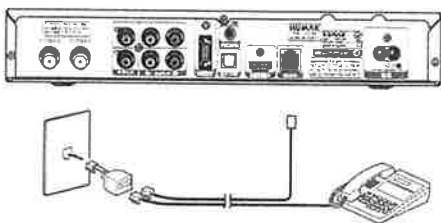
1 ケーブルテレビ宅内線を接続する (☞ 16 ページ)



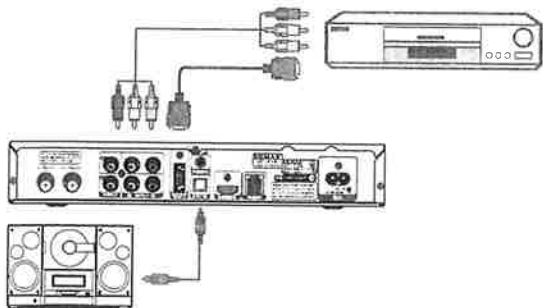
2 テレビを接続する (☞ 16 ページ)



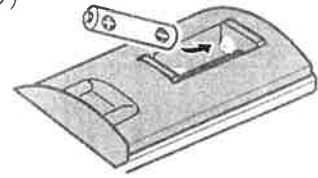
3 電話回線を接続する (☞ 18 ページ)



4 各機器を接続する (☞ 20 ページ)

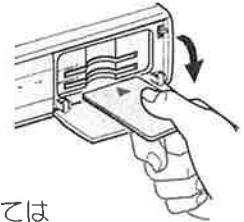


5 リモコンに電池を入れる (☞ 21 ページ)

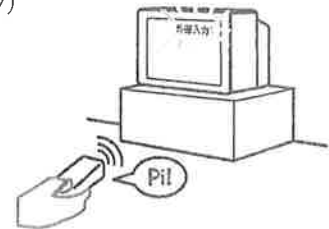


6 ICカードを挿入する (☞ 21 ページ)

本機専用の B-CAS カード
および C-CAS カードを
挿入します。
(本機専用 IC カードについては
ご契約のケーブルテレビ会社または
購入店にお問い合わせください。)



7 本機とテレビの電源を入れ、テレビを外部入力 (本機を接続した入力) にする (☞ 22 ページ)



8 初期設定をする (☞ 22 ページ)

- ・接続したテレビの設定
- ・デジタル音声出力の設定
- ・地域設定
- ・電話回線の設定
- ・Ir システムの設定
- ・TV コードの設定

これで基本の接続と設定は終了です。

番組を 見てみましょう!

☞ 29 ページへ

番組のみかたなど、操作方法については
29 ページ「番組を見てみましょう」から
の説明をご覧ください。

2

ご使用の前に

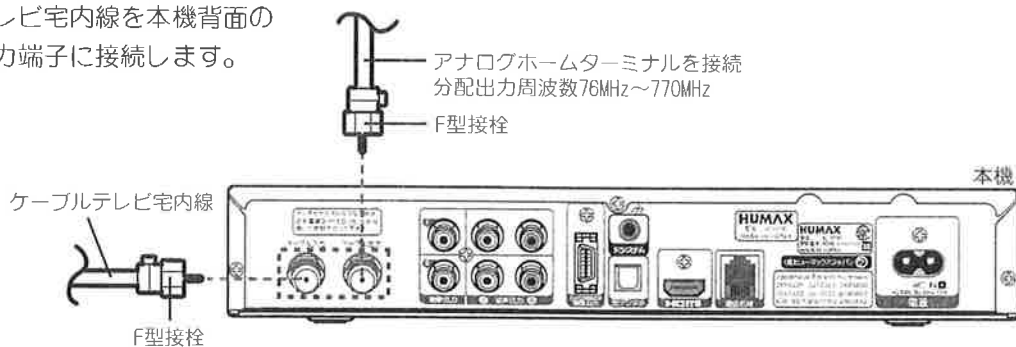
接続と初期設定

ケーブルテレビ 宅内線の接続

注意

- すべての接続は、本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行なってください。
- ケーブル入力端子・出力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。

ケーブルテレビ宅内線を本機背面のケーブル入力端子に接続します。

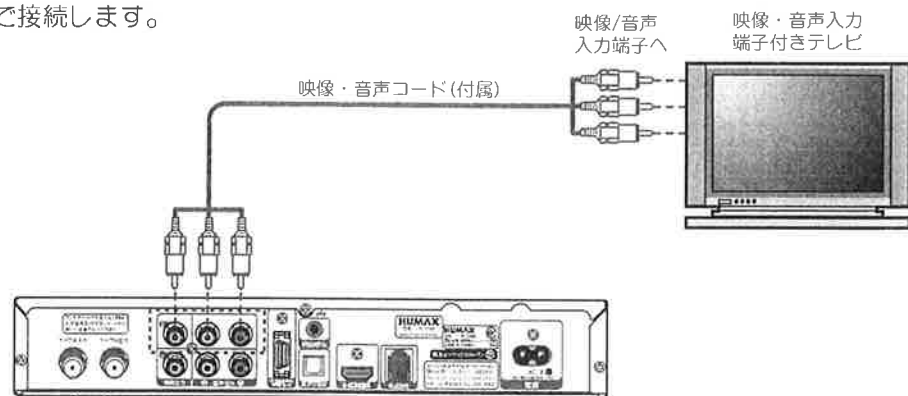


テレビの接続

接続終了後、テレビに合わせて「接続テレビ・オーディオ設定」を行なってください。(P. 22 ページ)

■ 映像・音声入力端子付きテレビの場合

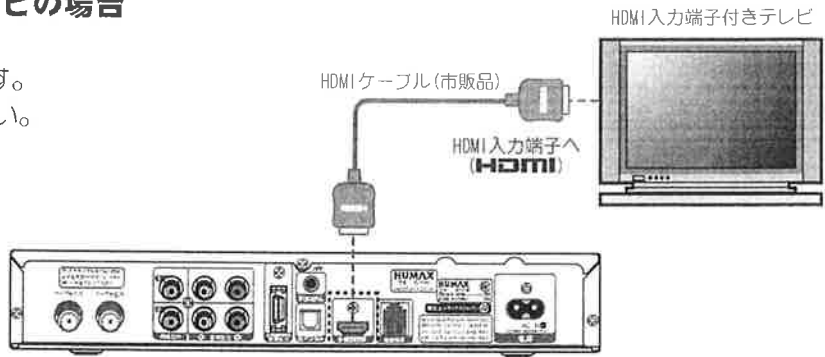
付属の映像・音声コードで接続します。



■ HDMI入力端子付きテレビの場合

市販のHDMIケーブルで接続します。
「HDMI解像度設定」をしてください。
(P. 24 ページ)

HDMI端子に接続した場合は、
D端子から映像信号は出力
されません。

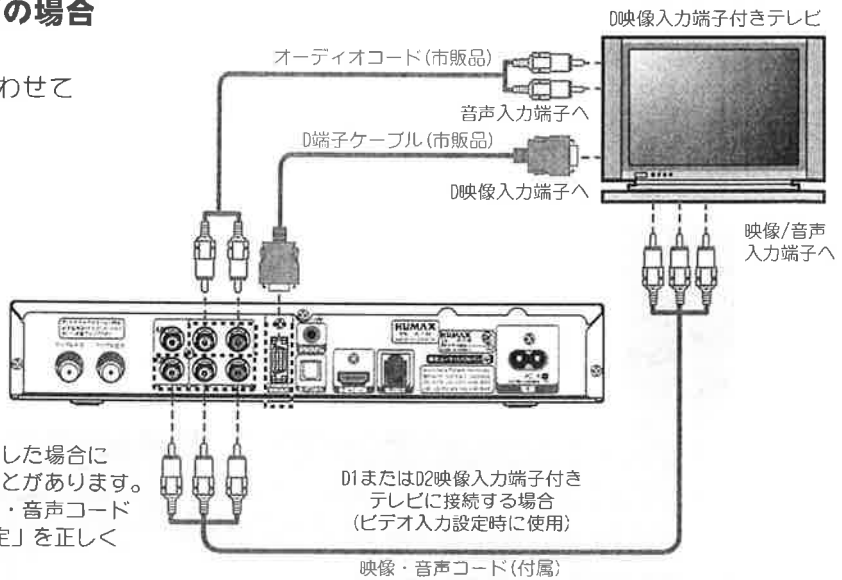


ご参考

- HDMI端子について
映像・音声およびコントロール信号を1本のケーブルでデジタル伝送できるため、デジタルハイビジョン放送などをより鮮明な映像で楽しめます。

■ D映像入力端子付きテレビの場合

接続するテレビのD端子の種類に合わせて
「D端子出力設定」をしてください。
(P. 23 ページ)



■ コンポーネント映像入力端子付きテレビの場合

接続するテレビのコンポーネント入力端子
が対応している信号方式に合わせて
「D端子出力設定」をしてください。
(P. 23 ページ)

